

# 倫理学

講師	篠原 駿一郎	実施時期 単位数	第1学年後期 1単位 (15時間)	実務経験	○
一般目標 (GIO)	倫理問題に配慮して医療、歯科医療、研究を行うために、生命と医療に関わる倫理の重要性を理解する。				
授業概要	倫理学は、人間や社会組織の行為の善し悪しや正当性を評価する学問です。この授業では、特に医療倫理あるいは生命倫理と呼ばれる分野に焦点を絞って学びます。日常生活や医療の場で、命(いのち)をどのように扱うのが適切かを考えていきましょう。				
学習方法	講義・映像資料の利用				
成績評価の方法	最後にテストを行います。受講態度も加味して評価します。(テスト80%、受講態度20%)				
教科書	使用しません。重要なことは板書します。				
履修上の注意	一人の人間として、また医療従事者として、さまざまな倫理問題を真剣に深く考えてもらいたいと思います。				
参考書	篠原駿一郎著「生命科学のユートピア～いのちの尊厳は守られるか」(2015年,NHK出版)				
実務経験のある教員 (概要、科目との関連性)	大学での指導経験をもとに生命と医療にかかわる倫理の重要性を講義する。				

## 授業計画

No.	授業項目	到達目標 (SB0s)
1	倫理、医療倫理、生命倫理	そもそも倫理とは何かを理解し、職業倫理としての医療倫理の基本的な概念を学ぶ。
2	生殖医療の倫理1	さまざまな生殖補助技術に関わる倫理を考える。
3	生殖医療の倫理2	出生前診断の発達に関わる倫理を考える。
4	病気治療の倫理1	臨床場における医療者の倫理を考える。
5	病気治療の倫理2	先端医療をどう評価するかを考える。
6	終末期医療の倫理	終末期における医療者の倫理を考える。
7	医療と社会の関係	医療は社会の問題でもあることを理解する。
8	授業のまとめと期末テスト	授業の理解を確かめる。